

# ほんま進 vol.9 県議会だより

ご意見・ご要望をお聞かせ下さい。  
**ほんま進 事務所**  
 〒260-0824千葉県千葉市中央区浜野町1408  
 TEL.043-268-1100 FAX.043-263-9568  
 URL <http://www.s-honma.jp/> Email [s-honma@mbr.nifty.com](mailto:s-honma@mbr.nifty.com)

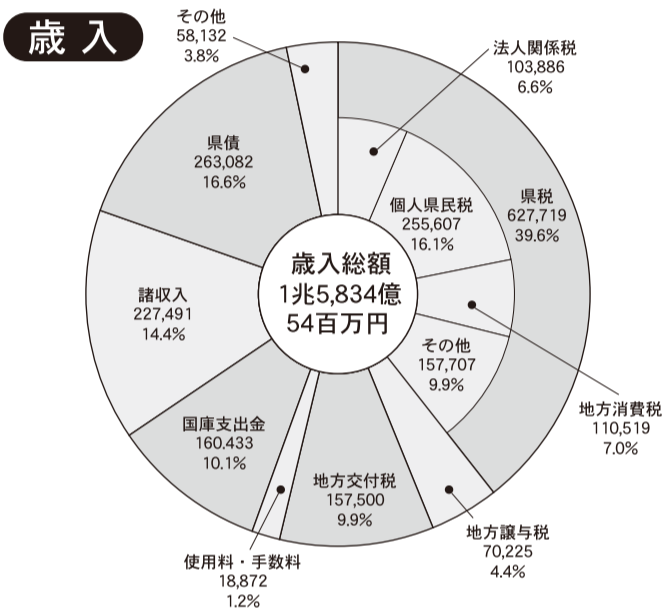


6月定例県議会が6月5日招集され、7月2日に閉会されました。今回、提出されました案件は補正予算案、各種条例案、その他附帯議案35議案のほか報告15件でした。森田知事から、平成25年度6月補正予算は「肉付け予算」として、政治的な判断を要する経費や新規事業、基盤整備事業のうち新規着手分などを中心に、①新総合計画の原案に掲げられた事業のうち早期に実現可能な事業や重点的に実現すべき施策についての確実な対応すること。②国の緊急経済対策に伴い、交付された基金を活用し、雇用創出や子育て支援など、緊急的な課題



平成25年度  
6月補正予算額  
**1,066億9,500万円**

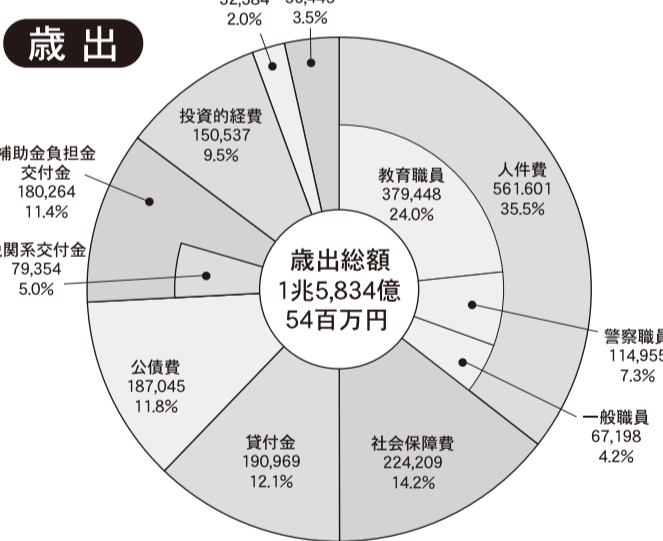
## 一般会計6月補正後の状況



### 新総合計画(原案)の 主な内容

1. 災害危機管理対策
2. 安全・安心
3. 医療・福祉・環境
4. 子ども・教育
5. 千葉の魅力発信・観光
6. 産業の活性化・雇用対策・基盤整備

本大震災からの復興・復興を進めるとともに、災害・危機管理対策を推進することなど、3つの考えのもと編成しました。一般会計の補正予算規模は一〇六六億九五〇〇万円の増額で、6月補正後の予算額は一兆五八三四億五四〇〇万円となることと述べられました。



## 5,000フィート経路の高度引き上げを… 本年11月を待たずに本運用を!!

6月27日総合企画水道常任委員会で発言しました。【ほんま進】6月4日に連絡協議会を開催し、国土交通省からの高度引き上げに関する説明の中で、千葉市上空を南側から進入する五千フィート経路の高度引き上げを、本年3月からの試行に続き、11月の本運用移行を目指すとの報告があったが、本運用の移行を11月まで待たず、早期に本運用できるよう前倒しすることはできないのか？

空港地域振興課長が答えました。6月4日の連絡協議会で国土交通省から受けた説明では、今回の試行は、昨年の試行で明らかになった課題を解決するため、速度制限を緩和するなど飛行方法を一部変更しているとのことでした。

この変更後の飛行方法において、春一番など強い南風時の検証を行い、これについては大きな問題は完了しましたが、夏場の気温が高い時期には、羽田からの離陸機の上昇率が低下するということがあり、変更後の飛行方法で離陸機と

着陸機との安全間隔の検証が必要となる、という説明を受けております。なお、当初想定することのない問題が発生しなれば、現在試行されている高度引き上げのまま本運用に移行しますので、高度引き上げによる騒音軽減効果が引き続き保たれるものと考えております。

【ほんま進】少なくとも、南側から進入する五千フィート経路は本運用を11月から前倒しせずとも、高度引き上げによる騒音軽減効果が維持されるというところであるが、問題なのは、北側から進入する四千フィート経路の高度引き上げである。国土交通省の説明では、11月から本格運用を開始するというところであるが、国際線が増枠されることを考えると、それまでに高度引き上げの実施が間に合うのか？

空港地域振興課長が答えました。来年3月には国際線3万回が増枠されることを踏まえ、北側経路の本格検討の時期について、国際線増枠までに高度引き上げが可能

となるよう、検討の前倒しを含めて要請したところであります。これに対し、国土交通省からは「3月には引き上げ試行が行えるよう鋭意検討する」との回答があり、また検討開始時期についても、南側経路の本運用は11月だが、9月には飛行方式が確定することから、9月から「準備を超えた検討をきちりと進める」との回答を受けておりますので、国土交通省で速やかに検討を進めていくものと認識しております。

会議の中でも、私から、来年3月には試行にせよ高度引き上げの実施を至上命題として検討するよう、強く要請したところであります。

【ほんま進】要望 国際線が増えるということは、それだけ大型の航空機が増え、騒音影響も増大するということであり、国土交通省から「3月に引き上げ試行が行えるよう鋭意検討する」という回答を得ているのであれば、確実に来年3月までの高度引き上げができるよう、国に強く働きかけていただきたい。



6月27日総合企画水道常任委員会